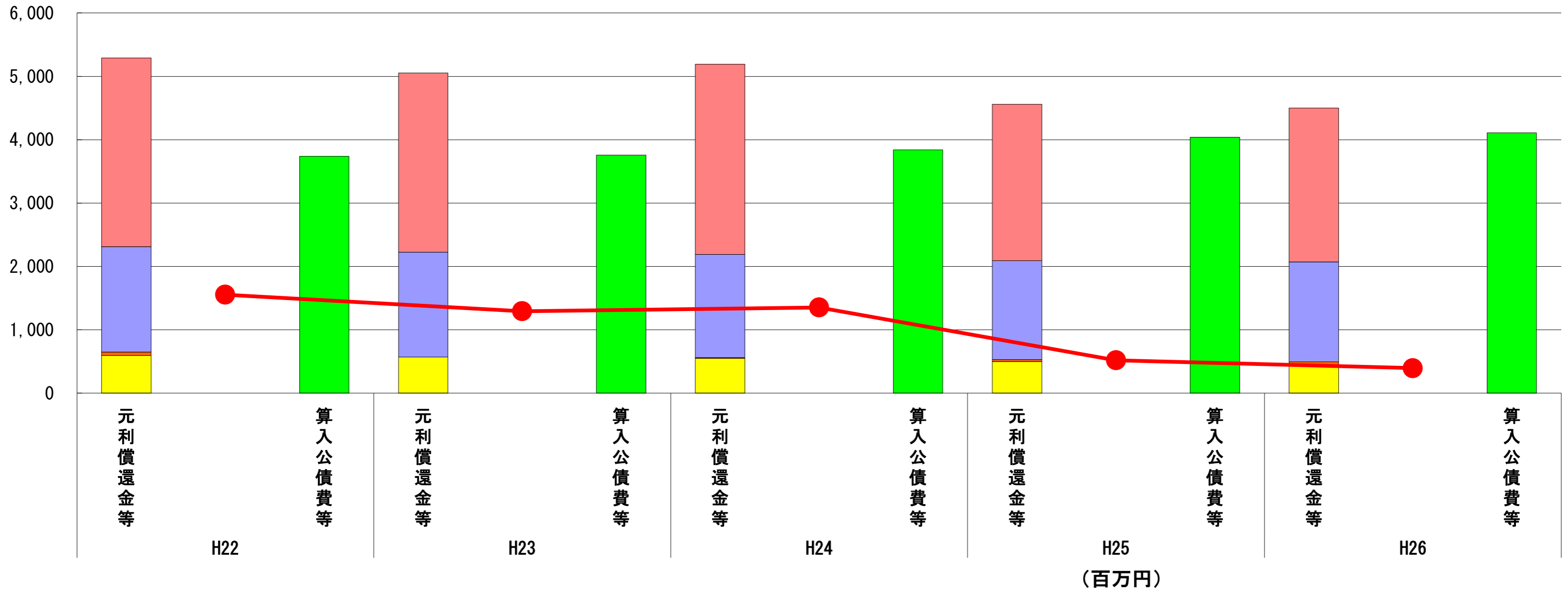


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

愛知県東海市

(百万円)



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,981	2,830	3,002	2,470	2,433
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,662	1,653	1,628	1,559	1,576
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		58	0	12	33	51
	債務負担行為に基づく支出額		591	570	550	497	442
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		3,738	3,759	3,841	4,040	4,108
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,554	1,294	1,351	519	394

分析欄

実質公債費比率の分子については、元利償還金が前年度比0.37億円減少したこと等により、元利償還金等(A)全体としては、0.57億円の減となった。算入公債費等(B)の値も0.7億円増したため、実質公債費比率の分子は1.3億円の減となった。今後も、借入利率の低減を図り、元利償還金の圧縮に努める。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。